

3（月）主により頼む

「あなたの行く道すべてにおいて、主を知れ。
主があなたの進む道をまっすぐにされる」
（箴言 3:6）

主よ、受難週が始まると共に、新年度を踏み出しました。これから始まる新しい道のどこにおいても、日々、あなたを知ることができるよう私を助けてください。

あなたを知るために、自分の知恵や経験に頼らず、まずあなたに祈ります。静まる「ひととき」を私に与えてください。まず、主イエスに依り頼む。

格別に環境の変化を感じている者たちが、あなたに依り頼むことによって、あなたによって行く道が整えられますように祈ります。

私を助けてください、私の家族を助けてください。そのためにも、まず私が、あなたを知ることを第一とすることができますように、私にあなたに「依り頼む」ことを教えてください。



4（火）心の中の宮きよめ

「『わたしの家は、すべての民の祈りの家と呼ばれる。』と書いてあるではありませんか」
（マルコ 11:17）

イエスさま、私の心は祈りの家となっているのでしょうか。あなたは、まず私の心を調べられます。まるで市場のように多くの出来事が行き交い、俗物が売り買いされているのが私の心です。

どうか、いま祈る私の心をきよめて、盗人を追い出したように、祈りの家としてください。聖なる神にふさわしく、俗的な言葉も考えもきよめて、私の心を祈りの家としてください。

そして、その心に聖霊を宿すことができますように、「平安があなたがたにあるように」と聖霊を吹き込んでください。

今日の課題、今日の疲れ、明日の課題、明日の不安、思い悩むことの多い私です。ですから、あなたの平安の息吹を必要としています。

いま、この場で祈りました。私の心の中はあなたのお住まいです。それをわきまえ知ることができますように、私を整えてください。

5（水）忍耐！

イエスは彼に答えられた。『わたしがしていることは、今はわからなくても、後でわかるようになります』（ヨハネ 13:7）

私はあなたという陶器師の御手の中にある粘土の塊です。あなたは私を練って尊い器に造り替えようとしておられます。一件、霊的なこととは無関係である私たちの日常を通して、あなたは私を作り上げてくださいます。

時に試練が厳しく、時に周囲の支えもなく、孤独にがんばっています。

でもあなたは、おっしゃいます。「後でわかるから。わたしがあなたを導き支えていることが、後でわかるから」と。そのお言葉に励まされて今日も一日を過ごします。この御言葉を何事につけても覚えていることができますようにお助けください。



6（木）洗ってください

「ペテロはイエスに言った。『決して私の足をお洗いにしないでください。』イエスは答えられた。『もしわたしが洗わなければ、あなたはわたしと何の関係もありません。』（ヨハネ 13:8）

主よ、あなたは私の一番汚れているところに手を伸ばされます。そのたびに、思わずペテロのように、とんでもない！と、足を引っ込めしまう者です。

イエスさま。あなたに申し訳ないのです。こんなに汚れていることが恥ずかしいのです。そこまで弱い自分が情けないのです。

でも主よ。ペテロに語られたように私にも強く語って下さい。「足を出しなさい。もしわたしがあらわなければ、あなたはわたしとの関係を失うのですよ」と諭して下さい。

恐る恐る差し出します。申し訳ないほど情けない私の足を。感謝します。あなたの憐れみに。

7 (金) 私を思い出してください

「イエスさま。あなたの御国に入られるときには、私を思い出してください」(ルカ 23:42)

主よ、あなたは共に十字架につけられた犯罪人の懇願の声に十字架の上で耳を傾けてくださいました。

しかも即座に答えられました。「まことに、あなたに言います。あなたは今日、わたしとともにパラダイスにいます」(ルカ 23:43)

彼は何の申し開きもできない犯罪人でした。私も同じような罪人です。あなたの前で申し開きができることは一つありません。

ですから、あなたの憐れみにすがります。私のことを覚えていてください、思い出してください。あなたに覚えられていれば、私は

あなたの憐れみの御手の中にいます。あなたと共にいることができます。私にはその資格はありません。しかし、あなたがかかっておられるその十字架が私のためであったことを強く信じます。

8 (土) 心を燃やしてください

「そこでふたりは話し合った。『道道お話になっている間も、聖書を説明して下さった間も、私たちの心は燃えていたではないか。』」(ルカ 24:32)

主よ、私がエマオの途上の 2 人の弟子たちのように、暗い顔で道を歩いているとき、近づいてください。

私も鈍い者で、あなたの存在がわかりません。

それでも主よ、あの弟子たちにしてくださったように、私にもみことばを与え、みことばを説き明かし、そのことばを私のたましいに響かせて、この心を温めてください。

年度替わりの一週間を終えて、復活の聖日を迎えます。

「恐れるな。わたしが共にいる」とおっしゃってください。

今日の夜はよく休み、明日の復活の礼拝に私も行くことができますように。

私の健康を守り、私に時を与えてください。そして日本中の教会の礼拝を祝福してください、復活の希望にあふれた礼拝をあなたにさげることができますように。

受難週の祈り

2023

4月3日(月)～ 4月8日(土)

